

人間を救うのは人間だ。

救うを

託されている。

赤十字 やまぐち

2023
春号

Japanese Red Cross Yamaguchi Chapter

自宅から
できる支援が
あります



災害時の「医療救護活動」や日頃の
「いのちと健康を守るための講習」、「青少年の育成」など
全ての事業は県民の皆さまからの寄付金を財源にしています。

令和5年度 日本赤十字社山口県支部 予算 (単位:千円)

皆様からの活動資金をもとに、
人間のいのちと健康、尊厳を
守る活動を続けています。

A 社資収入	189,000	E 災害救護	28,019
B 補助金及び交付金収入	4,691	F いのちと健康を守る講習普及	15,578
C 雑収入	5,309	G 赤十字ボランティアの育成・活動促進	11,436
D 前年度繰入金	30,000	H 未来につなぐ青少年赤十字活動	17,262
		I 国際活動、赤十字の全国的事業	29,225
		J 市町の赤十字事業	35,500
		K 赤十字思想の普及等	43,869
		L 支部の運営費	45,611
		M 予備費	2,500



※赤十字病院、血液センターは施設ごとの特別会計となっており、この予算には含まれていません。

災害時のあの人を救うのは、今のあなたです。



日本赤十字社は、世界 192 か国にある赤十字社の1つです。日本赤十字社法という法律に基づく認可法人であり、独立した民間の団体です。赤十字の活動は、公平・中立に行うため、国や県・市町からの補助金は受けずに 県民の皆さまからの温かいご寄付を財源に実施しています。

災害救護

赤十字では、近い将来の発生が危惧される大規模地震や近年、頻発化している大雨災害等の際に、迅速かつ的確に救護活動が実施できるよう、日頃から資機材の整備や救護員の訓練を行っています。

また、災害時の被害を少しでも軽減できるよう、防災・減災の知識などをお伝えする防災・減災講習を地域で実施しています。

看護師を対象にした救護訓練



災害時に救護員として活躍する山口・小野田赤十字病院の看護師を対象に、救護訓練を実施しました。

地域での防災・減災講習



防災教材「ぼうさいまちがいさがしけんはっけん」を使って、園児に地震から身を守るために大切なことを伝えました。

地域の防災イベントに参加し、遊びながら防災を考える「いえまですごろく」を使って、来場者に備えについて考えてもらいました。



自助・共助の力を高めるため、地域の防災マップ作りを行う防災・減災講習を上関町で行いました。

県内で活躍する赤十字ボランティア

山口県内では、約8,900人の赤十字ボランティアが様々な分野で活動しています。

今号では、防災奉仕団 委員長 藤本 浩志さんにインタビューしました！

山口県赤十字防災奉仕団って？

災害時の救護活動への協力や地域の自助と共助の力を高めるための講習普及などを目的に活動する組織です。



藤本 浩志さん(62歳)
活動歴：28年

大切にしている言葉
「一人の百歩より 百人の一步」

読者の方々へメッセージ

災害が起こったときには、自分のことだけでなく、みんなと一緒に「人道」と「博愛」の心をもって助け合いましょう。

まさに「一人の百歩より、百人の一步」が大切です。

Q1 防災奉仕団としての日頃の活動

平成25年の山口県での大雨災害や東日本大震災など、数多くの災害でボランティアとして救援活動を行った経験のもと、山口県内の自治会や学校などで講演や炊き出しなどの訓練を行っています。そこで繋がった各地域の人々とは、絆ネットワークを創り、いざというとき一緒にボランティアが出来るようにしています。

Q2 災害が頻発化・激甚化している中で、大切な備えとは？

まずは、「自助」として自分の身の安全を常に確保し、次に「共助」として家族、近所の安全を確保することが大切です。そのためには日頃から、運動やトレーニングをしてすぐに動けるようにしておくこと、また、必要な装備を揃えておくことが大事です。

Q3 今後、どのように防災・減災活動を進めていきたいか

まずは奉仕団員をもっと増やしていきたいです。そして、これまで以上に山口県内の色々な地域で楽しく学べる講習会や研修会を実施し、地域の絆を深めていきたいです。



いのちと健康を守る講習会の開催

大切ないのちと健康を守るための知識・技術を広めていくため、心停止で倒れた人を救助するための心肺蘇生法や AED（自動体外式除細動器）の使い方などを学べる救急法などの各種講習を実施しています。

令和4年度 講習会実施状況（山口県内）

救急法等講習 **309回 / 9,218人**
(令和4年12月31日現在)

県内の小・中学校や高校のほか、様々な企業・団体からご依頼いただきました。



山口市老人憩の家の職員を対象に実施した救急法講習

令和5年度

基礎・救急員養成講習の開催予定

基礎：心肺蘇生法やAEDの使い方が学べます。
養成：急病やけがの手当て、搬送法などが学べます。

下関市：川中公民館

[基礎・養成] 2023年
8月19日(土)、20日(日)、27日(日)

岩国市：岩国市役所

[基礎・養成] 2023年
10月7日(土)、14日(土)、15日(日)

宇部市：宇部総合福祉会館

[基礎・養成] 2023年
11月11日(土)、12日(日)、18日(土)

※ 各会場とも、初日に基礎講習を実施します。
※ 各会場の開催時間や上記会場以外の開催予定、また、予定の変更等は、随時、ホームページでご案内いたします。

お申込みについて

日赤山口県支部ホームページの申し込みフォームまたはお電話で受け付けています。
<https://www.jrc.or.jp/chapter/yamaguchi/study/join/>



未来につなぐ青少年赤十字

赤十字では、児童や生徒の“いのちと健康を大切にすること”や“地域社会などに奉仕する心”を育成する活動を教育現場を通じて行っています。現在、県内では185の幼稚園・保育園、小・中・高等学校・総合支援学校が青少年赤十字に加盟し、「気づき、考え、実行する」を合言葉に様々な活動を行っています。

地域でのボランティア活動

加盟校の児童・生徒たちが、地域での清掃活動や高齢者の支援活動など、様々なボランティア活動を行っています。



柳東小学校の児童による清掃活動

国際交流

赤十字に加盟する世界の仲間と交流し、様々な価値観に触れることで、互いに尊重し合い助け合おうとする心を育てる活動を行っています。



国際交流事業に参加した高川学園高等学校の生徒

赤十字ボランティア

活動目的ごとに組織されたボランティアグループが、感染症流行期においても知恵を出し合い、工夫しながら地域の清掃活動など、社会や地域ニーズに寄り添った活動を行っています。

地域赤十字奉仕団の活動

「地域社会に貢献したい」という思いを持った人びとによって市町ごとに組織される地域赤十字奉仕団が清掃活動などを行いました。



山口市赤十字奉仕団による
地域の清掃活動

赤十字防災奉仕団の活動

9月に台風 14 号の被害を受けた住宅の家財の撤去などを赤十字防災奉仕団が行いました。



山口県赤十字防災奉仕団による
災害ボランティア

青年赤十字奉仕団の活動

概ね 18 ～ 30 歳の社会人や学生などで組織される青年赤十字奉仕団が献血推進活動などを行いました。



山口大学学生赤十字奉仕団による
献血の呼びかけ

国際活動

世界中の災害や紛争、病気などに苦しむ人々を救うため、世界最大の赤十字のネットワークを活かして、緊急時の救援や復興支援、予防活動に取り組んでいます。

ウクライナ人道危機救援

2022 年 2 月 24 日以降、各地に甚大な被害を及ぼしているウクライナの避難民に対する支援を行っています。

● 職員の派遣

薬剤師や臨床心理士、放射線技師などをウクライナや周辺国に派遣しています。

● 救援金の募集と緊急資金援助

日赤全体の受付金額…… 82 億 5,657 万 9,745 円（2023 年 2 月 1 日時点）
うち山口県支部の受付金額… 4,611 万 5,830 円（2023 年 2 月 1 日時点）
※募集した救援金は、国際赤十字に送金し、現地や周辺国の支援活動に使用されています。

救援金の使いみち

- ・ 紛争犠牲者支援（避難民 / 負傷者 / 被拘束者含む）、民間人の保護
- ・ 飲料水、食料、医薬品など物資の提供
- ・ ウクライナから避難された方の受入支援、避難所の提供



避難を誘導するウクライナ
赤十字社スタッフ



温かい食べ物や暖を提供する
ウクライナ赤十字社

NHK 海外たすけあい

紛争や災害、病気などで苦しんでいる世界各地の人びとを支援するための募金キャンペーンを実施しました。

募集金額 **1,113,774 円**
（キャンペーン期間の合計額）



野田学園幼稚園の園児たちによるキャン
ペーンの協力

募金の使いみち

世界各地の人道危機への支援、ウクライナ人道危機が影響を及ぼしているアフリカの食料危機への対応などに活用しています。

赤十字の活動資金にご協力をお願いします

お寄せいただいた寄付をもとに
県内の子どもの育成や、災害や紛争などで苦しんでいる人への支援など“人間のいのちと健康、尊厳を守る”ための活動を行っています。

ご協力方法について

お近くの窓口で

山口県支部または、お住まいの市町の赤十字窓口でご寄付を受け付けております。



お近くの郵便局・銀行で

※一部の金融機関でご利用いただける専用の振込用紙(手数料免除)もありますので、希望される方はお問い合わせください。

1 ゆうちょ銀行	01590-3-4076
2 山口銀行 山口支店	(普通) 0100606
3 西京銀行 山口支店	(普通) 2075763

振込先

日本赤十字社
山口県支部

郵便局・銀行の口座振替で

毎月/年1回など、ご希望の頻度と額で定期的にご寄付いただけます。申込用紙をお送りしますので、山口県支部までお電話ください。



クレジットカードで



クレジットカードでご寄付いただけます。

お申込みはこちらから

<https://donate.jrc.or.jp/>



遺贈・相続財産でのご協力

「自分の財産の一部や、故人の遺産を社会のために役立ててほしい」という尊いご意思を受け、遺贈による寄付・相続財産の寄付を承っております。ホームページからパンフレットをダウンロードいただくか、山口県支部までお電話ください。

税制優遇について

個人

所得税および 個人住民税の控除の対象

(所得税法第78条第2項第3号、地方税法第37条の2、地方税法第314条の7)

相続または遺贈

相続税の 非課税

(租税特別措置法第70条)

表彰について

ご寄付の金額に応じた 表彰制度があります

日赤山口県支部では毎年2月頃に表彰式典を開催し、支部長(村岡嗣政知事)から対象者に直接表彰をさせていただきます。

※義援金は「国又は地方公共団体に対する寄付金」となるため赤十字表彰の対象にはなりません。

寄付者の声

「災害が起きたときに、いち早く駆けつけてくれるのが赤十字。社会になくてはならない存在。」

そう語るのは、過去に2度、災害を経験した萩市在住の林 一雄さん。自身も自治会長として赤十字への寄付協力を呼び掛けている林さんに、お話を聞きました。



はやし かずお
林 一雄さん(66才)

私自身、過去に2度大雨災害を経験しました。災害で家は半壊になり、家族は避難所で生活するなど、大変な状況が続きました。そのような中、地域には赤十字の方が来られ、すぐに活動されていました。やはり、災害が起きたときにいち早く駆けつけてくれるのは赤十字なんだと思いました。

また、2度の災害を経験して思ったのは、被害を軽減させるためには、地域でしっかり防災・減災を考えていく必要があるということです。そのために私も、防災・減災のための活動をしています。なかなか地域だけでは、難しいことも多くあります。そういったところに赤十字が入っていただき、防災・減災の促進や地域社会に必要な活動を幅広く行ってもらいたいと思っています。

毎年集めている寄付についても、このような災害時の活動や日頃のいのちと健康を守るための講習普及など、困っている人や苦しんでいる人に寄り添った活動に使われていると思っていますので、社会に必要なものとして、これからも地域みなさんに協力を呼び掛けていきたいと思っています。

応援しますので、ぜひこれからも社会のための活動を続けてください。

お知らせ

5月は赤十字運動月間です

日本赤十字社は1877年の西南戦争における負傷者救護で初めての活動を行って以来、国内外における災害救護をはじめとし、苦しむ人々を救うために幅広い分野で活動しています。日赤では、毎年5月を「赤十字運動月間」として、赤十字の理念や活動へのご理解とご協力を呼びかけています。



自治会・町内会を通じて 日赤にご協力くださる皆様へ

日頃からご協力いただき誠にありがとうございます。
お寄せいただいたご寄付は、赤十字の災害救護活動や被災者へ配布する救援物資の備蓄、救急法等の講習実施など、赤十字の人道支援事業に活用させていただきます。
引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。



被災地で活動する日赤山口県支部救護班

県内企業・団体の皆さまへ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



日赤山口県支部では、活動を続けていくため継続的な活動資金への寄付協力をお願いしています。
なお、日本赤十字社への寄付に対しては、税制上の優遇措置や表彰制度があります。詳しくはお問い合わせください。

措置の名称等	関係根拠法令	適用期間	措置の内容等
特定公益増進法人に対する寄付金	法人税法 第37条第4項	通年	法人の通常有する寄付金損金算入限度額とあわせて、別枠で算出した特定公益増進法人に対する寄付金の損金算入限度額が損金に算入されます。

※ 法人の損金算入限度額は、その法人の資本や所得の金額によって異なります。詳しくは、税理士事務所等にお問い合わせください。

赤十字サポーター募集中！

赤十字サポーター制度とは

山口県内の企業・団体様が、赤十字の事業活動を通して社会貢献に参加していただける制度です。登録した企業・団体様は、日赤の社会貢献パートナーとして、広報媒体（ホームページなど）を通じて、紹介させていただいています。

認定要件

- ①年1万円のご寄付に加え、日赤の活動へのご協力または
- ②年10万円のご寄付

※ 日赤の活動へのご協力の詳細は、当支部までお問い合わせください。

協力方法の一例

- ①寄付付き自動販売機の設置
 - ②商品売り上げの一部を寄付
 - ③販売会などのイベント収益の一部を寄付
- など…

プレゼント企画

今回のプレゼント企画では、赤十字サポーターの株式会社シマヤ様から、「人生100年時代を生きるすべての人の定番となるだし」「優れだし」を2種類ご提供いただきました。

かつおは、素材から取る一番だしの味わいと香りを追求し、焼きあごは、炭火焼き特有の香ばしい香りが引き立つ本格派のだしとなっています。

今回は、この2種類を1セットにして、**30名様に抽選**でプレゼントします！たくさんのご応募お待ちしております！



応募方法

以下項目を明記のうえ、ハガキ・FAX・WEBでご応募ください。

- ①お名前・郵便番号・ご住所・お電話番号・年代
- ②本誌を入手した場所
- ③本紙に関するご意見・ご感想
- ④ご要望（取り上げてほしいテーマなど）

※ 応募情報にかかる個人情報、本企画のみに利用いたします。

郵送：〒753-0094 山口市野田 172-5
日本赤十字社山口県支部総務課 広報誌プレゼント係
FAX：083-932-3615
WEB：右の2次元コードからご応募ください。



べ切

令和5年6月30日（金）（郵送の場合は必着）

当選発表

プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

講習会や寄付のお問い合わせは

日本赤十字社山口県支部 TEL 083-922-0102

ホームページ：https://www.jrc.or.jp/chapter/yamaguchi/

Facebook：https://www.facebook.com/jrcyamaguchi

HP



facebook

